

発展させよ！命を守る闘い

旬刊雑誌「労働経済旬報」(労働経済社発行)の八月下旬号は、西井華一、中田明男、二井謙十等の論文「労災・職業病の補償と労災裁判」を掲載していますが、それは命を守るための闘争をすすめる三池の労働者にとって重要な内容を提供しています。次に、その抜粋を紹介いたします。ぜひ一読をお願いします。

高度成長を続けるわが国の技術革新、合理化は、資本に莫大な利潤をもたらした反面、深刻な労働災害、職業病を生じさせてきた。このわが国が労働者・職業病の予防、補償について、労働行政、労災法の機能が十分に果たされていませぬ。労働者の命と健康の値段が安すぎます。

解説

編集部

昭和四十五年以降、労災裁判の取り組みが強められ、労働組合の労働協約による企業内補償の闘いが前進してきたなかで、補償を引き上げる労災法改正要求も高まり、ILO「業務災害給付条約」百二十一号の批准が求められてきましたが、政府はまだその批准をしていません。しかしながら、昭和四十五年、四十八年、四十九年と、労災保険の改正がおこなわれ、補償内容が若干改善されました。

しかしフランス、西ドイツ等のヨーロッパ主要国の多くは、このILO条約百二十一号を土着の労災補償法に、国内法で規定しているのだから、更に改正を要求していく必要があります。

労働災害は、資本の利潤追求の生産過程の中で、労働者に犠牲を強いているのです。

労働者は、資本に労働力を提供しても、いのちや健康までは売っていません。資本は、労働者の生命、健康を破壊しないよう万全の措置を講ぶべき安全保護の義務を負っています。それは労働者の立場からいえば、企業に対して——

第一に、企業が安全保護義務を十分に果たすこと。第二に、企業が安全保護義務を十分に果たすこと。第三に、危険な業務については労働力の提供を拒否する権利を生活保護法の給付水準以下となし、

基礎に横たわる生存権

命の値段は余りにも安過ぎる

わが国の労働者人口は約三千万人といわれていますが、年間百五十万人という労働保険新規受給者数から推察するに、一年間に、労働者二十一人に一名の割合で労災の犠牲者が出ているわけで、とりわけ労災は一家の大黒柱が対象となる点で、交通災害以上の補償が必要となつてきます。

このように労災闘争の現状は、失われた犠牲の大きさに比較して、まったくお粗末の限りで、裁判闘争ももつと多く多く組まれていかなうてはなりません。

労災との闘いは、犠牲者の損害の完全なる補償の要求にとどまらず、労災発生の原因を究明し、労災を二度と起こさない労災防止の闘いとして取り組まれるべきです。

このように闘いである以上労災前後と推定されますが、これは毎年六千人近い死者を出し、約四十五万人の重傷者、約百五十万人の労働保険新規受給者を出す労災実態からすれば、きわめて多い。

驚くべき事実

現在全国の裁判所に係属している労災、職業病裁判は約千件前後と推定されますが、これは毎年六千人近い死者を出し、約四十五万人の重傷者、約百五十万人の労働保険新規受給者を出す労災実態からすれば、きわめて多い。

この日、高令者の意気込みもきびしかった反面、敬老会的なふんいきのあったことも、否定できないのではなからうか。

なごの集いに三池退協協から石松副議長と宮浦退協者の斎藤好さんの二人が参加しました。

次の人ひとが役員となつて福岡県高令者協大牟田支部の推進にあつてゆく。(敬称省略)

会長 坂口長一郎(三池退協) 副会長 山崎山久(三池退協) 寺崎清春(自労退協)。事務局 長 近藤寿(市職退協)。

なお、発足の日会場の大牟田労働会館講習室は、結集した高令者たちであふれるほどだったが、同支部の今後の発展を祈つてもまなす。

福祉に回せ軍事予算

全国の老人の団結を

退職協 斎藤 一 好

九月十四日、東京都体育館で、高令者集会が開かれた。暑さが頭に来る日にもかかわらず、二万人以上の参加者だった。

集会実行委員会の加藤勤十事務局長、総評の市川誠議長、それに社共各党代表などの発言があった後、美濃部東京都知事は「住民福祉のためなら、どんな犠牲を払っても越えねばならぬ」と、決意をこめて語った。

高令者の代表も意見を發表したが、なかでも印象的だったのは東京連合会の代表の言葉で、「国は、国民一人当たりの社会保障額は、十八、百人の声なんか相手にしない、はじめて労災を職場からなくしてやるのです。」

「抵抗なくして安全なく、安全なくして労働なし」とのシロガンのもとに労災予防・労災補償の闘いを力強く発展させていかなうてはなりません。

この日、高令者の意気込みもきびしかった反面、敬老会的なふんいきのあったことも、否定できないのではなからうか。

なごの集いに三池退協協から石松副議長と宮浦退協者の斎藤好さんの二人が参加しました。

次の人ひとが役員となつて福岡県高令者協大牟田支部の推進にあつてゆく。(敬称省略)

会長 坂口長一郎(三池退協) 副会長 山崎山久(三池退協) 寺崎清春(自労退協)。事務局 長 近藤寿(市職退協)。

なお、発足の日会場の大牟田労働会館講習室は、結集した高令者たちであふれるほどだったが、同支部の今後の発展を祈つてもまなす。

たたかう、広硝からの便り

苦しいが頑張ります

雇用闘争の先頭に立つ覚悟

流血の「利権戦争」。一九三〇年代のシカゴの悪夢、日本に。

銀行が、鉄鋼について政治献金を再開。預金金利引き下げの見返りを思えば安い投資。

×

「建國二百年、ふたたび西部劇の昔に戻るか、アメリカ。」

×

現時点において、二百二十六名の指名解雇中、百九十二名の者が系争証明による雇用保険の仮払を受けながら、闘いに結集しています。

この闘争は永く苦しい闘いになると思いますが、なんとか頑張りますのでよろしく御願いたしたいと思います。

退職のひと

次の人ひとが役員となつて福岡県高令者協大牟田支部の推進にあつてゆく。(敬称省略)

会長 坂口長一郎(三池退協) 副会長 山崎山久(三池退協) 寺崎清春(自労退協)。事務局 長 近藤寿(市職退協)。

なお、発足の日会場の大牟田労働会館講習室は、結集した高令者たちであふれるほどだったが、同支部の今後の発展を祈つてもまなす。

この日、高令者の意気込みもきびしかった反面、敬老会的なふんいきのあったことも、否定できないのではなからうか。

なごの集いに三池退協協から石松副議長と宮浦退協者の斎藤好さんの二人が参加しました。

次の人ひとが役員となつて福岡県高令者協大牟田支部の推進にあつてゆく。(敬称省略)

会長 坂口長一郎(三池退協) 副会長 山崎山久(三池退協) 寺崎清春(自労退協)。事務局 長 近藤寿(市職退協)。

なお、発足の日会場の大牟田労働会館講習室は、結集した高令者たちであふれるほどだったが、同支部の今後の発展を祈つてもまなす。

この日、高令者の意気込みもきびしかった反面、敬老会的なふんいきのあったことも、否定できないのではなからうか。

なごの集いに三池退協協から石松副議長と宮浦退協者の斎藤好さんの二人が参加しました。

次の人ひとが役員となつて福岡県高令者協大牟田支部の推進にあつてゆく。(敬称省略)

会長 坂口長一郎(三池退協) 副会長 山崎山久(三池退協) 寺崎清春(自労退協)。事務局 長 近藤寿(市職退協)。

なお、発足の日会場の大牟田労働会館講習室は、結集した高令者たちであふれるほどだったが、同支部の今後の発展を祈つてもまなす。

この日、高令者の意気込みもきびしかった反面、敬老会的なふんいきのあったことも、否定できないのではなからうか。

なごの集いに三池退協協から石松副議長と宮浦退協者の斎藤好さんの二人が参加しました。

次の人ひとが役員となつて福岡県高令者協大牟田支部の推進にあつてゆく。(敬称省略)

会長 坂口長一郎(三池退協) 副会長 山崎山久(三池退協) 寺崎清春(自労退協)。事務局 長 近藤寿(市職退協)。

なお、発足の日会場の大牟田労働会館講習室は、結集した高令者たちであふれるほどだったが、同支部の今後の発展を祈つてもまなす。

この日、高令者の意気込みもきびしかった反面、敬老会的なふんいきのあったことも、否定できないのではなからうか。

なごの集いに三池退協協から石松副議長と宮浦退協者の斎藤好さんの二人が参加しました。

次の人ひとが役員となつて福岡県高令者協大牟田支部の推進にあつてゆく。(敬称省略)

会長 坂口長一郎(三池退協) 副会長 山崎山久(三池退協) 寺崎清春(自労退協)。事務局 長 近藤寿(市職退協)。

なお、発足の日会場の大牟田労働会館講習室は、結集した高令者たちであふれるほどだったが、同支部の今後の発展を祈つてもまなす。

この日、高令者の意気込みもきびしかった反面、敬老会的なふんいきのあったことも、否定できないのではなからうか。

なごの集いに三池退協協から石松副議長と宮浦退協者の斎藤好さんの二人が参加しました。

次の人ひとが役員となつて福岡県高令者協大牟田支部の推進にあつてゆく。(敬称省略)

会長 坂口長一郎(三池退協) 副会長 山崎山久(三池退協) 寺崎清春(自労退協)。事務局 長 近藤寿(市職退協)。

なお、発足の日会場の大牟田労働会館講習室は、結集した高令者たちであふれるほどだったが、同支部の今後の発展を祈つてもまなす。



福永さん
 喰田万次さん 抗外特務
 九月十九日退職。すまじ「荒尾市大平社宅百二十八棟」
 北川速孝さん 抗外特務



吉井さん
 九月二十八日退職。すまじ「荒尾市二部字原口一九〇二〇三」
 三川指導部関係
 吉井正雄さん 抗探炭
 九月十五日退職。すまじ「大牟田市小浜南社宅十棟」
 吉井さんの言葉——
 「三池労組で今まではがんばった事は、私の生涯の誇りです。今まで以上に、つながりをもってほしい」(送別会の席で)



北川さん
 九月十六日退職。すまじ「大牟田市四山社宅八十四棟」
 福永さんの言葉——
 「メーデー歌大地より湧き天を貫く
 右の句は、私の何葉のなかの一句です。この心意気で三池の火を燃やし続け、停年後も働く者の幸福のため大いに頑張ります。三池の皆さま、大変お世話になりました。皆さまの健闘を祈ります」



喰田さん
 九月二十八日退職。すまじ「荒尾市二部字原口一九〇二〇三」
 三川指導部関係
 吉井正雄さん 抗探炭
 九月十五日退職。すまじ「大牟田市小浜南社宅十棟」
 吉井さんの言葉——
 「三池労組で今まではがんばった事は、私の生涯の誇りです。今まで以上に、つながりをもってほしい」(送別会の席で)



北川さん
 九月十六日退職。すまじ「大牟田市四山社宅八十四棟」
 福永さんの言葉——
 「メーデー歌大地より湧き天を貫く
 右の句は、私の何葉のなかの一句です。この心意気で三池の火を燃やし続け、停年後も働く者の幸福のため大いに頑張ります。三池の皆さま、大変お世話になりました。皆さまの健闘を祈ります」